アフターサービスについて

[illegible]

- 別添の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

[illegible]

- まず [illegible] の 故障かな？ を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印)
  2. 熱源機の名称…………ガス給湯暖房機
     品名または機器コード…正面右上部または右下部に表示してあります。
  3. お買い上げ日
  4. 故障または異常の内容(エラーコードなどできるだけ詳しく)
  5. 訪問ご希望日

[illegible]

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

[illegible]

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

[illegible]

お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

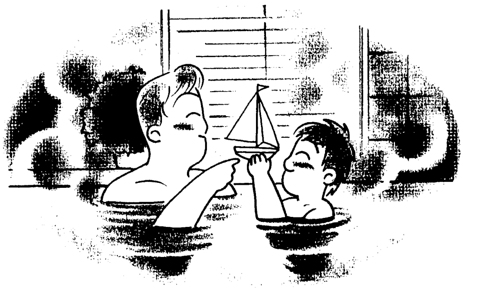
[illegible]

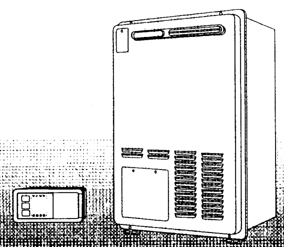
- 保守契約制度（有料）に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。

KGH9501LY9A1
F1199－0

ガス給湯暖房機 取扱説明書

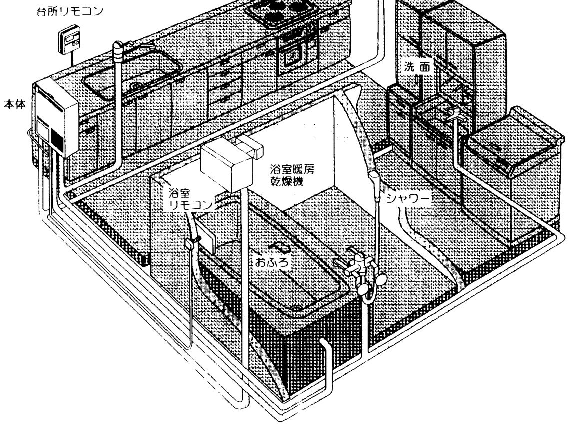
品　名		型式名	設置方式
AT－2800ARSSW$_3$Q シリーズ	135－4010型 シリーズ	AT－2800ARSSW3Q シリーズ	屋外式
AT－2800AFS$_1$SW$_3$Q	135－4018型	AT－2800AFSSW3Q	屋内式





給湯・ふろ・暖房が同時に使える　独立運転！

- 適温・適量のお湯はりができれば自動消火するお湯はり運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。
- 給湯の断続的な使用時に温度変化の少ない、Q機能付。

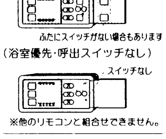


このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- 来客者などが熱源機を使用されるときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にて再購入してください。
- 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

お手持ちのリモコンを確認の上、必要箇所をお読みになってください。
説明のイラストは、異なる場合があります。

浴室リモコン(別売品)

(浴室優先・呼出スイッチ付)



ふたにスイッチがない場合もあります

(浴室優先・呼出スイッチなし)

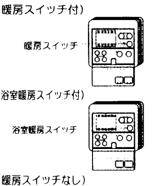
※他のリモコンと組合せできません。

台所リモコン(別売品)

(暖房スイッチ付)

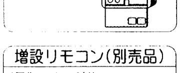
(浴室暖房スイッチ付)

(暖房スイッチなし)



増設リモコン(別売品)

(優先スイッチ付)



もくじ

必ずご確認ください

ページ
安全上のご注意……………… 6～11
使用上のお願い………………12～13

使いかた

ページ
早見表(使いかた一覧)………… 4～ 5
初めてお使いになるとき………14～15
お湯の出しかた…………………16～17
お湯はりのしかた………………18～19
お湯はり予約のしかた…………20～21
湯かげん調節のしかた……………22
足し湯・シャワーの使いかた……………23
こんなときは(残り湯・優先) ………24
暖房・浴室暖房(静音)のしかた ……25
日常の点検とお手入れ…………26～27

必要なときにお読みください

ページ
故障かな？……………………28～31
凍結予防について………………32～35
各部のなまえ
　(本体)……………………………36
　(台所リモコン・浴室リモコン)…… 37～39
仕様…………………………………40～41
索引…………………………………………43
アフターサービスについて …………裏表紙

必ず ご確認ください
まず 使いたいとき
もし 必要なとき

早見表（使いかた一覧）

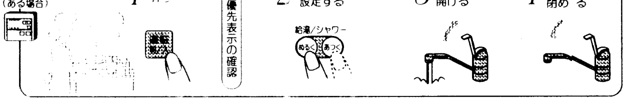
まず 使いたいとき

浴室リモコン

お湯を出す••••••••P16参照

台所リモコン（ある場合）

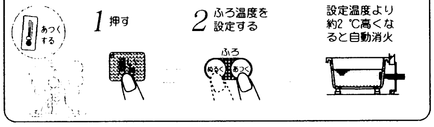
1 押す　優先表示の確認　2 給湯温度を設定する　3 給湯栓を開ける　4 給湯 栓を閉め る



浴室リモコン

おふろのお湯をあつくする••••••••P22参照

1 押す　2 ふろ温度を設定する　設定温度より約2 ℃高くなると自動消火

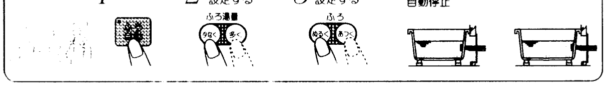


浴室リモコン

おふろにお湯をはる••••••••P18参照

※おふろの排水栓を閉じる

1 押す　2 ふろ湯量を設定する　3 ふろ温度を設定する　設定した湯量・温度になると自動停止　自動保 温（4時 間）

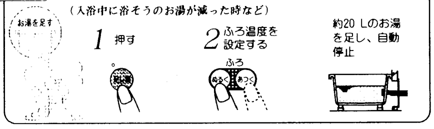


浴室リモコン

おふろのお湯を足す••••••••P23参照

（入浴中に浴そうのお湯が減った時など）

1 押す　2 ふろ温度を設定する　約20 Lのお湯を足し、自動停止

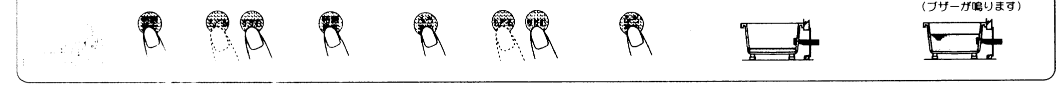


（セットの場合）

お好みの時間にお湯をはる••••••••P20参照

※おふろの排水栓を閉じる

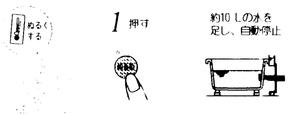
1 押す　2 現在時刻を合わせる　3 押す　4 押す　5 予約時刻を合わせる　6 押す　7 予約時刻にお湯はりが完了するように運転開始　8 お湯はりが終わると運転停止（ブザーが鳴ります）



浴室リモコン

おふろのお湯をぬるくする••••••P22参照

1 押す　約10 Lの水を足し、自動停止



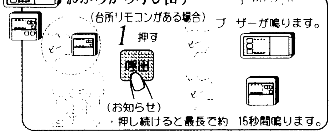
（セットの場合）

おふろから呼び出す•••••P38参照

（台所リモコンがある場合）

1 押す　ブザーが鳴ります。

（お知らせ）・押し続けると最長で約 15秒間鳴ります。



台所リモコン（ある場合）

〈浴室暖房スイッチ付のリモコンのみ〉

浴室を暖房する•••••P25参照

セット　1 押す

解除　2 押す

安全上のご注意

必ず ご確認ください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

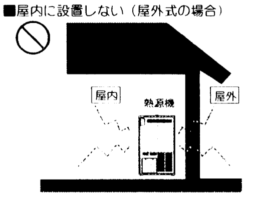
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

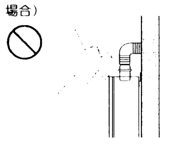
設置工事時のご注意

■屋内に設置しない（屋外式の場合）



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

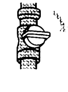
※混合水栓は、レバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合で説明しています。

⚠危険

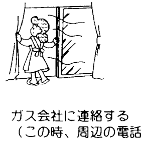
もし異常が起こったら

■ガス漏れに気付いたときは、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社に連絡する

ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする（屋内式の場合）

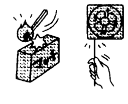


ガス会社に連絡する（この時、周辺の電話は使用しない）

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

⚠警告

給湯・シャワー使用時のご注意

■シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する

確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める

水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

■混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位置まで回す

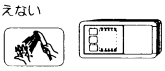
途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

■混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります

やけど注意

急に熱い湯が出ることがあります。
- 配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない

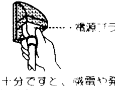


高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたり運転「切」にされると冷水になり、びっくりしてけがの原因となります。

⚠ 警　告

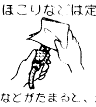
電源コード・プラグについて

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

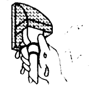
■電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない

ぬれ手禁止

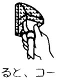


感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない

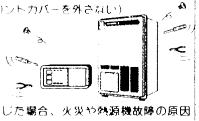
傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

修理・分解・改造について

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない（フロントカバーを外さない）

分解禁止



不備が生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。　● 販売店に依頼してください。

設置工事時のご注意

■屋外に設置しない（屋内式の場合。ただし、パイプシャフト設置の場合は除く）

炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水が入り熱源機故障の原因となります。

ご使用について

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

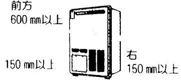
正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうの循環口付近に潜ったりしない

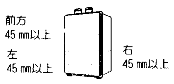
思わぬ事故の原因となります。

■燃えやすいものとは離す

〔屋外式の場合〕

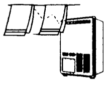


〔屋内式の場合〕



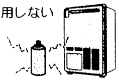
上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■給排気口(給排気筒トップ)をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

■スプレー缶を給排気口の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

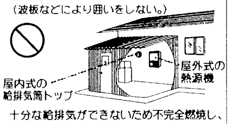
火災の原因となります。

■給湯・シャワー使用時はまず優先表示の点灯・設定温度を確認する

確認を怠ると、やけどの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない

（波板などにより囲いをしない。）


屋外式の
熱源機
屋内式の
給排気筒トップ

十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

長期間使用しないとき

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする

（旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう
（☞[illegible]））

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

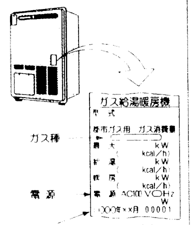
安全上のご注意

必ず
ご確認ください

⚠ 警　告

電源・ガスについて

■必ず銘板に表示のガス種・電源を使用する



他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

もし異常が起こったら

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

給湯栓を閉める

運転スイッチおよび
放熱器を「切」にする

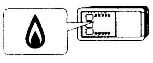
給水元栓・ガス栓を閉める

お買い上げの販売店または
ガス会社に連絡する

そのままにしておくと火災の原因となります。

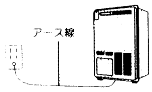
ご確認ください

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。
- アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■凍結後、再使用する際は全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する

水漏れによる床や壁などの損害は、お客様のご負担となります。

接続について

■ソーラー（太陽熱温水）システムに接続しない

高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

⚠ 注　意

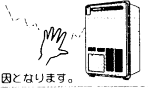
ご使用について

■給湯・シャワー・お湯はり・追いだき・温水暖房用として使用する

他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口(給排気筒)・天面付近に触れない

接触禁止



やけどの原因となります。

■熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない

健康を損なう恐れがあります。（雑用水としてお使いください。）

■熱源機の上にのったり、物をのせたりしない

やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

点検・お手入れについて

■点検・お手入れ時は、次の手順に従う

給水元栓・ガス栓を閉める

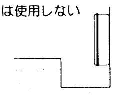
電源プラグを抜くまたは
ブレーカーを「切」にする

熱源機が冷えてから行なう
（☞[illegible]）

やけどや熱源機故障の原因となります。

設置について

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。
- 販売店にご相談ください。

■車両・船舶への設置はしない

振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

床暖房・パネルヒーターについて

■床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない

温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

■パネルヒーターの表面は触らない

接触禁止

やけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因となります。

安全上のご注意

必ず
ご確認ください

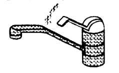
使用上のお願い

必ず
ご確認ください

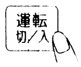
断水のときは

■断水のときは給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

給湯栓を閉める



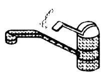
運転スイッチを「切」にする



そのままにしておくと、熱源機故障の原因となります。

停電のときは

■停電のときは、給湯栓を閉める



燃焼が停止し、水になります。

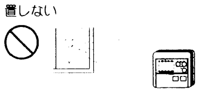
ご確認ください

■熱源機に「法定のステッカー」が貼付されていることを確認する（屋内式の場合）

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

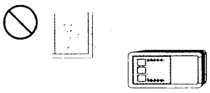
リモコンの使用について

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない



水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない



浴室リモコン故障の原因となります。

■浴室リモコンは、浴室外で使用しない

離れた場所で高温に設定されると、やけどの原因となります。

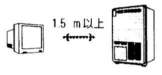
ご使用後は

■使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結して給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

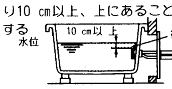
ご使用について

■テレビやラジオとは1.5 m以上離す



上記の距離を確保しないと雑音の原因となります。

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



熱源機故障の原因となります。

■硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。

■温泉水、自家用井戸水などで使用すると水質によっては、熱源機の耐久性を損なう場合があります。

修理が発生した場合、有料となります。

■２４時間風呂とは併用しない

２４時間風呂への対応はしていません。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない

熱源機故障の原因となります。

■この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

■燃焼中、電源プラグを抜いてまたはブレーカ「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

混合水栓使用の場合

■混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す、またサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3～5 ℃)にする

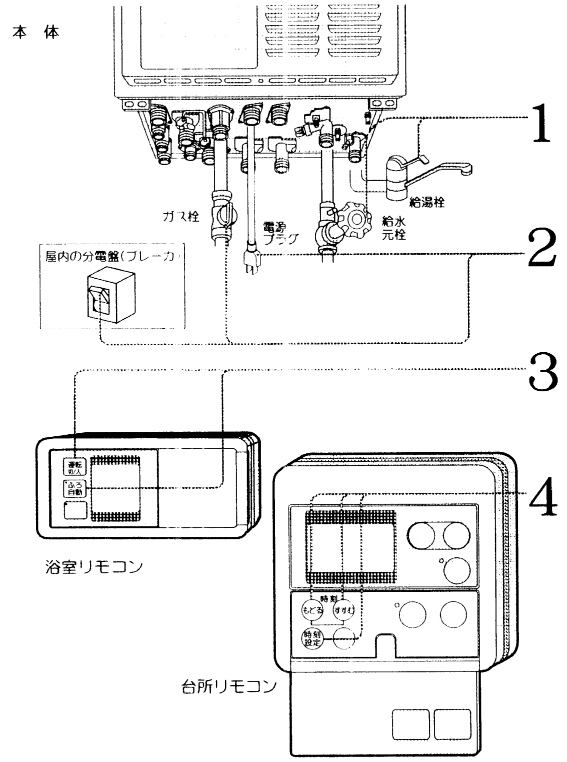
給水側の水を長い間使用しないと、一瞬にごった湯(赤水など)が出る場合があります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

初めてお使いになるとき

まず
使いたいとき

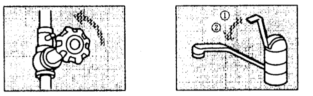


浴室リモコン

台所リモコン

※給湯栓は、レバーを上げた状態が「開」の場合で説明しています。

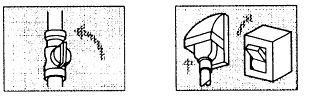
■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける

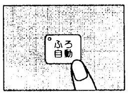
①開けて水を出し、
②閉める。

■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
または、ブレーカを
「入」にする

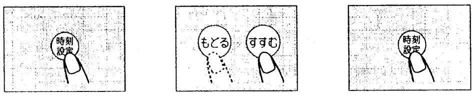
■ おふろの湯が出ることを確かめる(ポンプに水を入れるため)



ふろ自動スイッチを押す

①浴そうに湯が出ることを確かめ、
②再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

■ 現在時刻を合わせる（台所リモコンがある場合）


時刻設定
もどる
すすむ
時刻設定

押す	時刻を合わす	押す
「午前 0:00」が点滅。	例 午後 2時10分に合わす。	例「午後 2:10」が点灯。
午前 0:00	午後 2:10	午後 2:10.

「●」が点滅

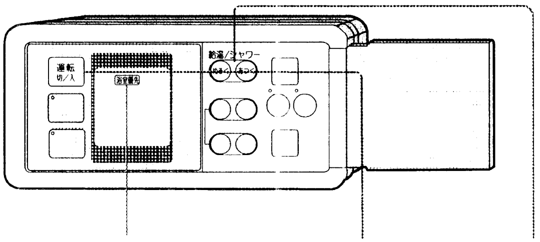
お知らせ

● もどる・すすむ スイッチは、１回押すごとに１分ずつ変わり、押し続けると１０分ずつ変わります。

お湯の出しかた

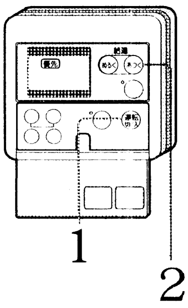
まず 使いたいとき

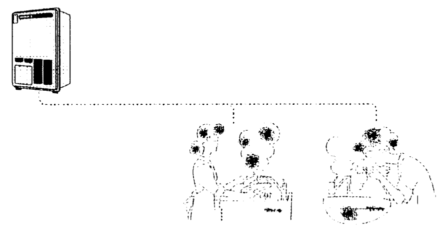
浴室リモコン



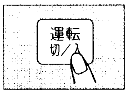
浴室優先表示（→ ）

台所リモコン



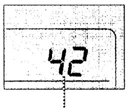


1



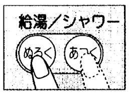
押す

（画面が表示していることを確かめる。）



前回の給湯温度

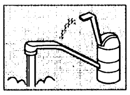
2



温度を設定する

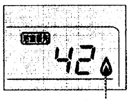
- お湯の温度は約38~45·46·47·60 ℃で設定できます。

3



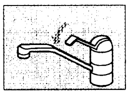
給湯栓を開ける

- 「🔥」が点灯。



給湯燃焼表示

4



給湯栓を閉める

- 「🔥」が消灯。

■ 2回目以降は

→前回と同じ温度の湯が出ます。

お知らせ

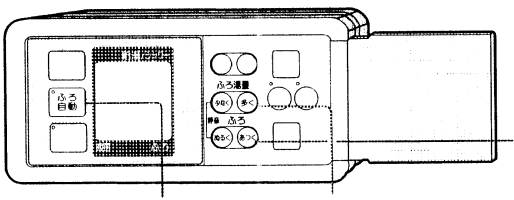
- お湯はり中に給湯栓を開けると
  →お湯はりは待機します。 →給湯温度はふろ温度と同じになります。
- 給湯栓を絞りすぎると→熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 給湯温度は目安です。
- 優先について…[illegible]を参照してください。
- 運転スイッチ「切」の状態でも約9 Wの電力を消費しています。

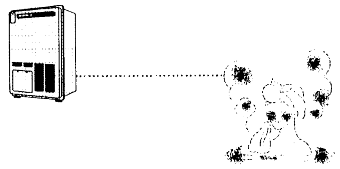
お湯はりのしかた

まず 使いたいとき

お湯はりとは、［ふろ自動］「入」で浴そうに設定した湯量・温度のお湯 を自動的にはる機能です。

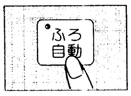
浴室リモコン





準備：①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしておいてください。

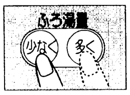
1



押す

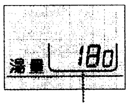
- ランプが点灯
- 設定した湯量·温度になると自動的に消火しブザーでお知らせします。

2



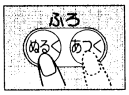
ふろ湯量を設定する

- 約40 L~約300 L(約20 Lごと)·400 L·500 Lで設定できます。
（例:1人~2人用浴そうの標準湯量は180Lです。）



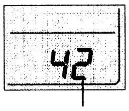
ふろ湯量表示

3



温度を設定する

- 約35~45·46·47·48 ℃で設定できます。



ふろ温度表示

お湯はりが終わると

→その後、4時間保温をします。
（［保温］が点灯）
保温時間経過後、自動停止します。

お湯はり·保温を

■ 途中で止めるとき

→再度［ふろ自動］を押す。
（ランプ·🔥·［保温］が消灯）

■ お湯はりを開始し、すぐに一旦停止するのは
→浴そうに残り湯があるか確認するためで異常ではありません。
（［ふろ自動］を「入」にし、約10 Lお湯はりすると約1分間止まります。）
■ 残り湯がある状態でお湯はりした場合 →（[illegible]）

■ 台所リモコンでもお湯はりできます

→台所リモコンの（ふろ自動）を押す。（浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。）

■ 2回目以降、ふろ湯量、温度が前回と同じ場合

→手順2、3の操作は必要ありません。

お知らせ

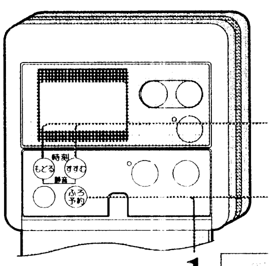
- 湯かげん調節は→[illegible]を参照してください。
- お湯はり中は→リモコンの優先表示は消えています。
- ふろ温度、ふろ湯量は目安です。
- 保温中の湯温検知は30分に1回行ないます。
- お湯はりをするとふろ配管中の少量の残り湯も浴そうに入ります。
- 給湯中にふろ自動スイッチを押すと
  →お湯はりは待機します。給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
- お湯はり中に給湯栓を開けると
  →お湯はりは待機します。 →給湯温度はふろ温度と同じになります。

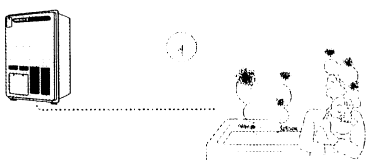
お湯はり予約のしかた（台所リモコンがある場合）

まず 使いたいとき

お湯はり予約とは、予約時刻にお湯はりを完了する 機能です。

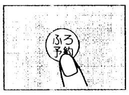
台所リモコン





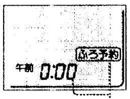
準備：
①おふろの排水栓を閉じる
②浴そうのふたをする
③現在時刻を合わせる（☞ ）
④浴室リモコンでふろ湯量・温度を設定する（☞ ）

1



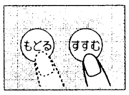
押す

- 「午前 0:00」と「ふろ予約」が点滅。



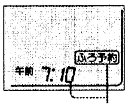
点滅

2



予約時刻を合わせる

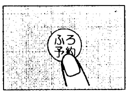
- 押すごとに10分ずつ変わり、押し続けると1時間ずつ変わります。



点滅

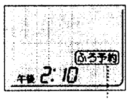
例:午前7時10分に合わせる。

3



押す

- 予約時刻が記憶され、約2秒後、現在時刻に戻ります。
- 「ふろ予約」点灯。



点灯

4 ほぼ予約時刻にお湯はりが完了し、ブザーでお知らせします

（ふろ予約 が消灯）

■ 取り消すとき

→再度 ふろ予約 を押す。

（ふろ予約 が消灯）

■ 2回目以降、予約時刻が前回と同じ場合

→手順2の操作は必要ありません。

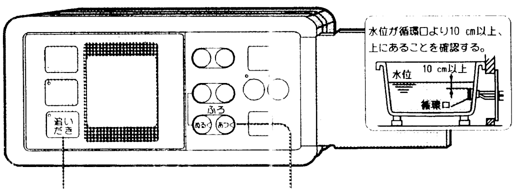
■ 予約中は、運転スイッチを「切」にしても予約は働きます。

お知らせ

- お湯はり予約の待機中（お湯はりが開始するまで）はふろ自動・追いだき・ぬるめ・足し湯スイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示は消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温はしません。
- お湯はり中に給湯栓を開けると
  →お湯はりは待機します。 →給湯温度はふろ温度と同じになります。
- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
  → ふろ予約 を2回押して予約時刻を確認し、再度 ふろ予約 を1回押す。
- お湯はり予約をしていない時に予約時刻を確認するとき
  → ふろ予約 を1回押して予約時刻を確認し、再度 ふろ予約 を2回押す。

湯かげん調節のしかた

まず 使いたいとき



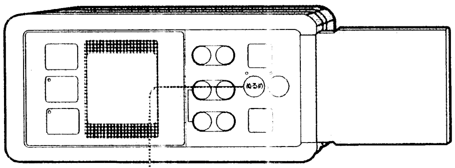
水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する。

1 押す（追いだきランプ点灯）

→設定温度より約2 ℃高くなると自動的に消火します。

2 〈温度を設定したい場合〉温度を設定する

■ 途中で止めるとき →もう一度 追いだき を押す。

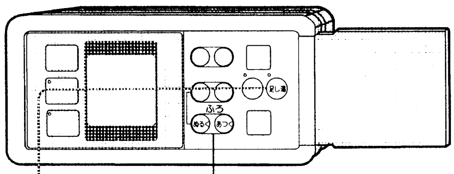


1 押す（ぬるめランプ点灯）

→約10 L水を足し、一旦燃焼して止まります。
（一旦燃焼するのは、熱源機内の湯温を保つためです。）

■ 途中で止めるとき →もう一度 ぬるめ を押す。

〔お知らせ〕●給湯、シャワー使用中は ぬるめ は作動しません。給湯使用後に、再度 ぬるめ を押してください。



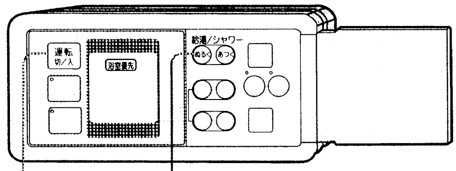
1 押す（足し湯ランプ点灯）

→約20 L足し湯すると自動的に消火します。

2 〈温度を設定したい場合〉温度を設定する

■ 途中で止めるとき →もう一度 足し湯 を押す。

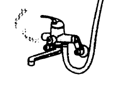
足し湯・シャワーの使いかた



1 押す（画面が表示していることを確かめる。）

2 温度を設定する

3 給湯栓を開ける

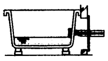


優先については、 を参照してください。

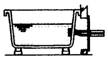
こんなときは

●浴そうに残り湯・水がある状態でお湯はりする場合（☞18・19・ 27）●

- ●残り湯が循環口より下にある場合
  →新たに設定量のお湯はりをしますが、残り湯分だけ多くなりますので浴そうあふれにご注意ください。



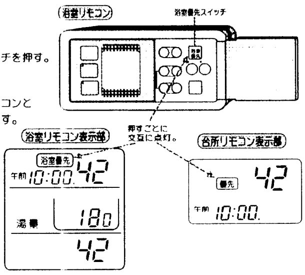
- ●残り湯が循環口より上にある場合
  →18・19・ 27と同じ手順で設定した湯量・温度に沸きあげます。ただし湯量、温度に多少のばらつきが出ます。特に残り湯の温度が高いと、湯量が設定湯量より少ない場合があります。また、沸きあげに多少時間がかかります。



●優先について（浴室リモコンと台所リモコンがある場合）●

◆浴室でシャワーを使用している場合、台所リモコンで温度を高温に設定することによるやけど防止のため、優先表示の出ているリモコンのみ給湯温度を設定できるようにしています。

- ●**優先表示が消えているときは**
  →浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- ●**浴室優先スイッチは**
  →押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。
- ●台所リモコンの 運転切/入 を押し直し、「入」にすると
  →優先表示は必ず台所リモコンに移動します。
  ※他の給湯栓を使用中は、優先切換しないでください。やけどの原因となります。

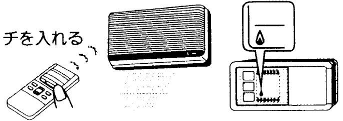


エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

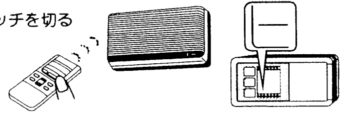
エアコンを使用の場合

●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

1 エアコンの
運転スイッチを入れる
- ● 🔥 が点灯。



2 エアコンの
運転スイッチを切る
- ● 🔥 が消灯。

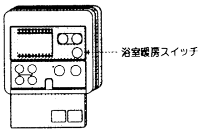


〔お知らせ〕●暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

●浴室暖房乾燥機の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

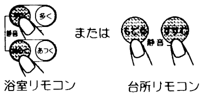
1 台所リモコンの
浴室暖房スイッチを入れる
- ● 暖房 が点灯。

2 台所リモコンの
浴室暖房スイッチを切る
- ● 暖房 が消灯。



暖房中の運転音が気になるとき

1 同時に押す（２秒以上）



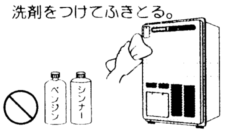
- ● 静音 が点灯
運転音を下げて運転します。
（暖房能力は少し低下します。）

2 解除するときは再度
同時に押す（２秒以上）

- ● 静音 が消灯

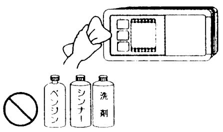
「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて（ブレ ーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



〔お願い〕ベンジン・シンナーなどは使用しない！

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



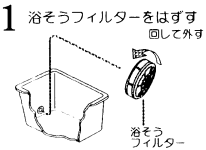
ベンジン
シンナー
洗剤

〔お願い〕ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して浴そう内側面に青くスジがついたり、青く変色することがあります。
※ふろがま内（循環径路）の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

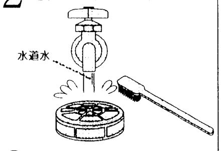
ゴミや湯あかなどをそのままにしておくと目詰まりを起こし熱源機の異常の原因となります。
（目詰まりがひどくなると、追いだきができなくなる場合があります。）

1 浴そうフィルターをはずす

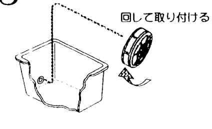


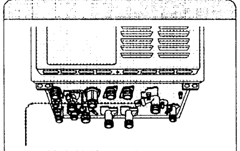
回して外す
浴そう
フィルター

2 歯ブラシなどで洗う

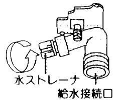


3 もとのように取り付ける



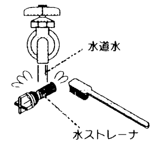


1 給水接続口にある
水ストレーナをはずす

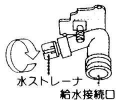


水ストレーナ
給水接続口

2 歯ブラシなどで洗う

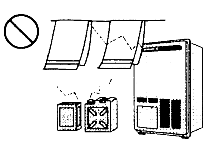


3 もとのように取り付ける



水ストレーナ
給水接続口

- ■ 熱源機の異常音は？
- ■ 外観に異常は見られませんか？
- ■ 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？

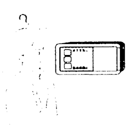


定期点検のおすすめ（有料）

- ●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ●熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

運転(燃焼)しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。
  ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。（☞　　）
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
  →点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていませんか。（☞　　）
- リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。
- ガスメータに異常はありませんか。
  （マイコンメータをお使いの場合、マイコンメータのランプが点滅していませんか。）

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量(混合水栓)の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていませんか。（☞　　）

リモコンの優先表示が点灯しない

- 浴室リモコンの浴室優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。（☞　　）

おふろへのお湯はり量・温度が大きくばらつく

- 浴そうフィルターが目詰まりしていませんか。（☞　　）

異常時には安全装置が働きます

1 給湯バーナーの炎が消えた場合……給湯立消え安全装置
2 暖房(ふろ)バーナーの炎が消えた場合……暖房立消え安全装置
3 暖房回路の水が万一極端に減った場合……空だき防止装置(暖房)
4 空だきした場合……空だき安全装置(給湯・暖房)
5 熱源機の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置
6 電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置
7 過電流が流れた場合……電流ヒューズ
8 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合……過圧防止安全装置

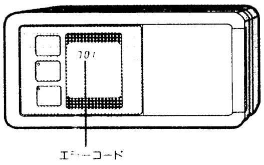
上記1～7の安全装置が働いた場合 ▶ リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。

● 次のような現象は故障ではありません。

寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
お湯はりの途中でお湯はりが一旦停止する	浴そうが大きい(300L以上)場合、一旦停止することがあります。
お湯はりしたとき設定した湯量にならない	浴そうに水・湯があるためです。（☞　　）
お湯はり時、給湯・追いだき燃焼表示がついたり消えたりする	浴そうの残り湯の量を判定するためで、異常ではありません。
お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ボコボコ」と音がする	お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
お湯はりが止まる、又はお湯はり時間が長い	お湯はり中に給湯栓を開けたためです。給湯栓を閉めるとお湯はりを開始します。
暖房中、「🔥」がついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて「🔥」がついたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度に以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
使用していないのに、ときどきポンプの回転音がする	暖房回路の空気を抜くために約1ヵ月に1回程度自動的にポンプ循環を行ないます。異常ではありません。

エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。



下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを長時間連続運転したため。	再度沸き上げる場合、追いだきスイッチまたはふろ自動スイッチを「切」にして再操作してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に不具合が生したため。	
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ（またはふろ自動スイッチ）を押しなおしてください。（暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。）
723	暖房側およびふろ側の回路に不具合が生じたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房・お湯はり・追いだき運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「開」（☞　　）になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
632	浴そうの循環口より約10 cm以上水が入っていないため。	浴そうの循環口より約10 cm以上水または湯を入れ、追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
000	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。
101	熱源機の燃焼に不具合が生したため。	お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
991	熱源機の燃焼に不具合が生したため。	ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
上記以外の表示		運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。

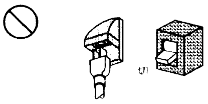
上記の処置を行なっても同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。このとき、エラーコードの表示をお知らせください。

こんなときは

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ● 運転は、停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 〈再通電後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。	〈断水時〉 ● 運転は、停止します。 ● 給湯栓を閉じてください。 〈再通水後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。	〈供給停止時〉 ● 運転は、停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 〈供給再開後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。
ふろお湯はり	〈停電時〉 ● 運転は、停止します。 〈再通電後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。	〈断水時〉 ● 運転は、停止します。 ● ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ● エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後（☞　　）に従ってください。	〈供給停止時〉 ● 運転は、停止しますが、水は出続けます。 ● ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。
ふろ追いだき	〈停電時〉 ● 運転は、停止します。 〈再通電後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。	〈断水時〉 ● 通常は、正常運転します。	〈供給停止時〉 ● 運転は、停止します。 ● 追いだきスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ● 運転は、停止します。 ● すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈再通電後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。	〈断水時〉 ● 通常は、正常運転します。 ● エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな（☞　　）により再操作をしてください。	〈供給停止時〉 ● 運転は、停止します。 ● すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ● 使いかた（☞　　）によりご使用ください。

給湯・ふろ側

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



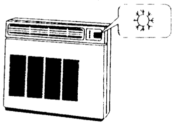
絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

※配管・バルブの凍結予防はできません。

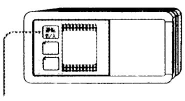
暖房側

- 外気温が0 ℃近くになると自動的にポンプが作動し、凍結予防運転します。（リモコンの暖房燃焼表示「🔥」が点灯。）

「❄」のある放熱器は運転スイッチを「❄」にする。

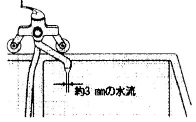


給湯側



1 運転スイッチを切る

2 給湯栓を開け、少量の水を出しつづける

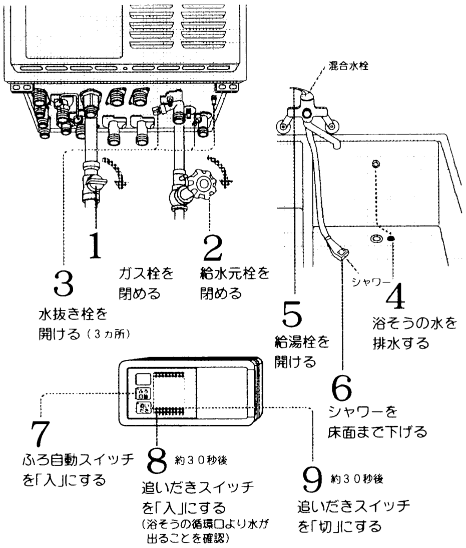


※電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。（凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。）
※配管・バルブの凍結予防はできません。

ふろ・暖房側

左記の説明と同じです。

給湯側・ふろ側



1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 水抜き栓を開ける（3ヵ所）

4 浴そうの水を排水する

5 給湯栓を開ける

6 シャワーを床面まで下げる

7 ふろ自動スイッチを「入」にする

8 約30秒後 追いだきスイッチを「入」にする（浴そうの循環口より水が出ることを確認）

9 約30秒後 追いだきスイッチを「切」にする

※配管・バルブの凍結予防はできません。
※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。
※手順通り行なわないと、水抜きが不十分で凍結の恐れがあります。

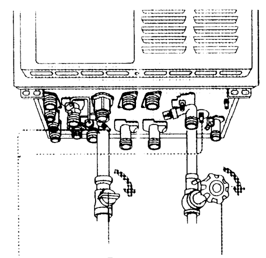
暖房側

※不凍液の有無を確認してください。
※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕	水抜きの必要はありません。
〔不凍液が入っていない場合〕	水抜きをしてください。

※1　放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
※2　不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または ブレーカを「切」にする

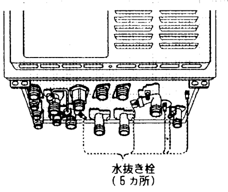


2 ガス栓を閉める

3 給水元栓を閉める

4 水抜き栓を開ける（2ヵ所）

※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は　　　　の「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

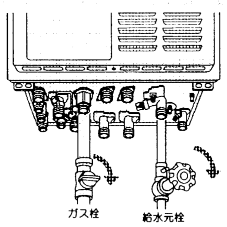
2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。



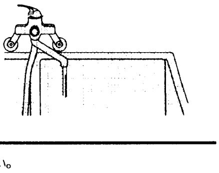
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

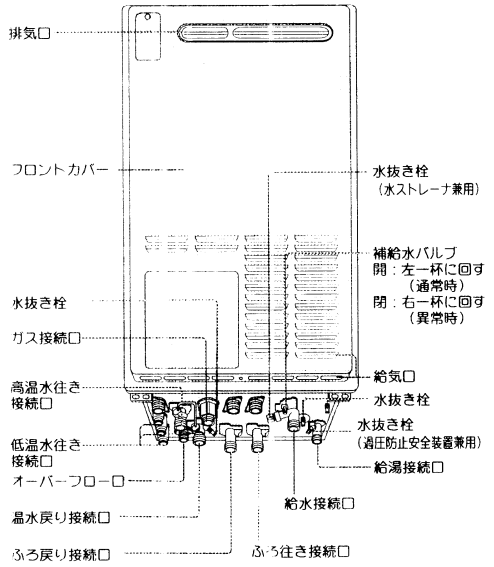
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



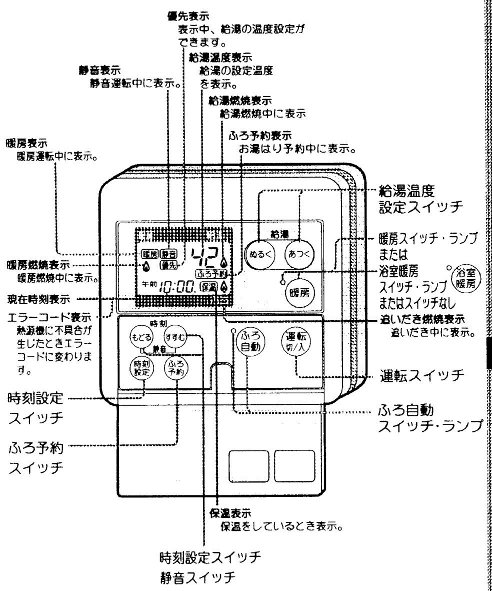
お願い
- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

本　体

※イラストはＡＴ－２８００ＡＲＳＳW3Qの場合で説明してあります。


排気口
フロントカバー
水抜き栓
ガス接続口
高温水往き接続口
低温水往き接続口
オーバーフロー口
温水戻り接続口
ふろ戻り接続口
水抜き栓
（水ストレーナ兼用）
補給水バルブ
開：左一杯に回す
（通常時）
閉：右一杯に回す
（異常時）
給気口
水抜き栓
水抜き栓
（過圧防止安全装置兼用）
給湯接続口
給水接続口
ふろ往き接続口

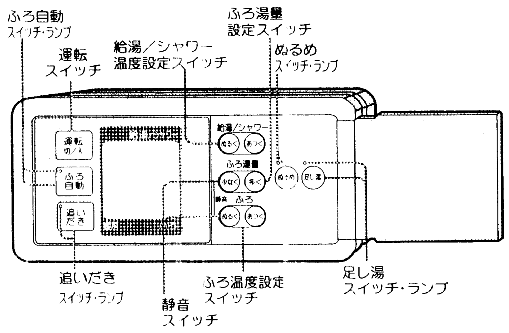
台所リモコン


優先表示
表示中、給湯の温度設定ができます。
給湯温度表示
給湯の設定温度を表示。
静音表示
静音運転中に表示。
給湯燃焼表示
給湯燃焼中に表示
ふろ予約表示
お湯はり予約中に表示。
暖房表示
暖房運転中に表示。
給湯温度設定スイッチ
暖房スイッチ・ランプ
または
浴室暖房スイッチ・ランプ
またはスイッチなし
暖房燃焼表示
暖房燃焼中に表示。
現在時刻表示
エラーコード表示
熱源機に不具合が生じたときエラーコードに変わります。
追いだき燃焼表示
追いだき中に表示。
運転スイッチ
時刻設定スイッチ
ふろ自動スイッチ・ランプ
ふろ予約スイッチ
保温表示
保温をしているとき表示。
時刻設定スイッチ
静音スイッチ
給湯
ぬるく
あつく
浴室暖房
暖房
時刻
もどる
すすむ
静音
時刻設定
ふろ予約
ふろ自動
運転切/入
暖房
静音
優先
42
ふろ予約
午前
10:00.
保温

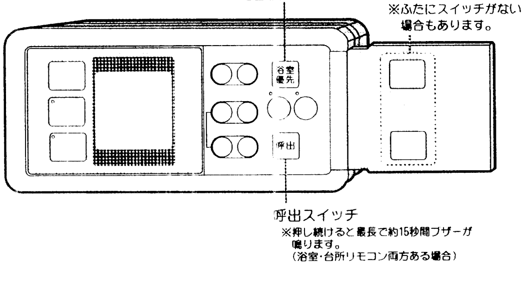
- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
- 「給湯温度」「ふろ温度」の数値は目安です。

浴室リモコ ン

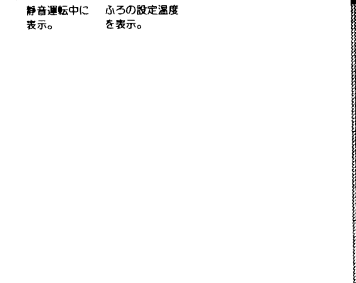
〈浴室優先・呼出スイッチなし〉


ふろ自動
スイッチ・ランプ
運転
スイッチ
給湯／シャワー
温度設定スイッチ
ふろ湯量
設定スイッチ
ぬるめ
スイッチ・ランプ
追いだき
スイッチ・ランプ
静音
スイッチ
ふろ温度設定
スイッチ
足し湯
スイッチ・ランプ
運転切／入
ふろ自動
追いだき
給湯／シャワー
ぬるく
あつく
ふろ湯量
少なく
多く
静音
ふろ
ぬるく
あつく
ぬるめ
足し湯

〈浴室優先・呼出スイッチ付〉 ※上記リモコンに浴室優先・呼出スイッチが付きます。


浴室優先スイッチ
※ふたにスイッチがない
場合もあります。
浴室優先
呼出
呼出スイッチ
※押し続けると最長で約15秒間ブザーが鳴ります。
（浴室・台所リモコン両方ある場合）

画面表示部


予約表示
（台所リモコンがある場合）
予約運転中に表示。
時刻表示
（台所リモコンがある場合）
現在時刻・予約時刻を表示。
エラーコード表示
熱源機に不具合が生じたときエラーコードに変わります。
保温表示
保温をしているとき表示。
暖房燃焼表示
暖房燃焼中に表示
浴室優先表示
表示中、給湯の温度設定ができます。
給湯／シャワー温度表示
給湯／シャワーの設定温度を表示。
給湯燃焼表示
給湯燃焼中に表示。
湯量設定表示
設定した湯量を表示。
追いだき燃焼表示
追いだき中に表示。
静音表示
静音運転中に表示。
ふろ温度表示
ふろの設定温度を表示。
予約
浴室優先
午前
午後
10:00.
42
湯量
180
静音
保温
42

- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
- 「給湯／シャワー温度」「ふろ温度」「ふろ湯量」の数値は目安です。

機種名		ガス給湯暖房機	
型式名		AT 2800ARSSW3Q	AT 2800AFSSW3Q
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
	給排気方式	強制排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法（mm）	本体	高さ750×幅480×奥行250	
	浴室リモコン	高さ 96×幅198×奥行 24.5	
	台所リモコン	高さ120×幅128×奥行 26	
質量（kg）	本体	46	
	浴室リモコン	0.3	
	台所リモコン	0.2	
水圧（kPa）	使用水圧	100（1kg／㎠）以上 600（6kg／㎠）以下	
	作動水圧	15 （0.15kg／㎠）	
最低作動水量（L／分）	給湯	2.8	
	暖房	0以上（締切り使用可）	
	ふろ	3.0	
ポンプ機外揚程	ふろ(50／60Hz)	63.7／73.5kPa（6.5 7.5mH₂O） 5.0L／分のとき	
	暖房	高温39.2kPa(4.0mH₂O) 10.0L／分のとき 低温49.0kPa(5.0mH₂O) 6.0L／分のとき	
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびON／OFF制御方式	
温度設定（℃）	台所リモコン 温調	約38 ～約47（1℃間隔）約60	
	浴室リモコン ふろ	約35 ～約48（1℃間隔）	
	浴室リモコン 給湯・シャワー	約38 ～約47（1℃間隔）約60	
	暖房	高温：約80 低温：約60（55,65,70℃に切換可）	
給湯量制御方式		水量比例制御方式（Q機能）	
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力（50／60Hz）（W）	運転時	265／32[illegible]	300／355
	運転停止時	9	9
	凍結予防運転作動時(最大)	220／22[illegible]	235／240
接続	ガス	R¾オネジ（20A）	
	給水・給湯	R½オネジ（15A）	
	暖房 高温往	G¾（20A）	
	暖房 低温往	樹脂管用差込ジョイント3P	
	暖房 戻	G¾（20A）	
	ふろ	R½オネジ（15A）	
	オーバーフロー口	R½オネジ	
	電気	本体電源 AC100V 50・60Hz 3心（うち1心アース用） 浴室リモコン2心・台所リモコン2心	
	給排気接続口		屋内式 給気口φ80、排気口φ80
BL品番		AT-2800ARSSW3Q	AT-2800AFS1SW3Q

仕様

使用ガス 使用ガス グループ		1時間当たりのガス消費量 kW（kcal／h）				標準出力 kW（kcal／h）		
		全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時		
			最大	最小		給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	48.8 (42 000)	35.0 (30 100)	5.70 (4 900)	17.4 (15 000)	27.9 (24 000) 〔16号〕	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
	12A	45.5 (39 100)	32.6 (28 000)	5.30 (4 560)	16.3 (14 000)	26.0 (22 400) 〔14.9号〕	8.72 (7 500)	13.0 (11 200)

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力 L／分（水圧：100kPa(1kgf／㎠)時）	水温＋25℃上昇	16.0	14.9
	水温＋40℃上昇	10.0	9.3

もし 必要なとき

取扱説明書

AT-2800ARS SW3Q AT-2800ARS8SW3Q
AT-2800ARS1SW3Q AT-2800ARS9SW3Q
AT-2800ARS2SW3Q AT-2800AFS1SW3Q
AT-2800ARS4SW3Q

110653101212 110653101216
110653101213 110653101217
110653101214 110653101218
110653101215

13

11

01

メモ欄

索引

あ
アースについて……10
アフターサービス……裏表紙
安全装置について……28
異常燃焼のときは……7
エラーコードについて……30
追いだき時の水位について……22
お湯はり中に一旦停止する……18
お湯をあつくする……22
お湯を足す……23
お湯を出す……16
お湯をぬるくする……22
お湯をはる……18

か
火災のときは……10
ガス種について……10
ガス漏れ時は……7
ガス漏れに気づいた時は……7
可燃物について……9
給湯・シャワー使用時は……7·9
給湯栓を絞りすぎると……16
給湯とお湯はり同時使用の場合……16·19
混合水栓について……13

さ
時刻合わせ……15
地震のときは……10
シャワー使用時は……7·9
修理について……8
出湯能力について……41
スプレー缶について……9
静音について……25
設置工事について……6·8
ソーラーシステムについて……10
掃除(本体・リモコン・浴そうフィルター)……26
　(水ストレーナ)……27

た
断水のとき……12
暖房について……25
定期点検について……27
停電のとき……12·31
テレビ・ラジオとの離隔距離……13
転居のとき……裏表紙
電源コード・プラグについて……8
電源について……10
凍結した場合……35
凍結予防について……32～35

な
24時間風呂について……13
入浴剤・洗剤について……13
残り湯からお湯はりをする……24

は
分解・修理について……8
保温について……19

ま
水ストレーナの掃除……27

や
優先について……24
浴そうの循環口まで水が
入ってないとき……24
浴そうの栓忘れ……30
浴室暖房について……25
呼出し……4

ら
離隔距離について……9
リモコンの使用場所……12

メモ欄

もし 必要なとき

索引

取扱説明書

AT-2800ARS SW3Q AT-2800ARS8SW3Q
AT-2800ARS1SW3Q AT-2800ARS9SW3Q
AT-2800ARS2SW3Q AT-2800AFS1SW3Q
AT-2800ARS4SW3Q

110653101212 110653101216
110653101213 110653101217
110653101214 110653101218
110653101215

13

01

お客様へのご案内

この度は、東京ガスのガス給湯暖房機をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取扱説明書に記載の型式名と、東京ガスの品名・機器コードの対照について下表の通りご案内申し上げます。

東京ガス		型式名	機能	設置方式
品名	機器コード			
AT-2800ARSSW3Q シリーズ	11-065-31-01212	AT-2800ARSSW3Q シリーズ	2温度タイプ	屋外式
AT-2800AFS1SW3Q	11-065-31-01218	AT-2800AFSSW3Q		屋内式

お客様からの販売店または東京ガスへの、この熱源機についてのお問い合せは、東京ガスの品名・機器コードをご連絡いただきますようお願いいたします。

（添付の保証書および熱源機本体右上部に、東京ガス品名・機器コードを明示いたしております。）

お客様には、東京ガスの給湯暖房システムを快適に、末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

TOKYO GAS

KGH9504LY9A1 F1199-0

保証書

型式名	AT-2800ARSSW3Q AT-2800AFSSW3Q
品名	AT-2800ARSSW3Q AT-2800AFS1SW3Q

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は、お買い上げの日から２年間とし機器本体を対象とします。付属品は対象外です。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
  (イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
  (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
  (ハ) 火災、水災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
  (ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
  (ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
  (ヘ) 本証書を紛失された場合。
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

東京ガス株式会社 〒105－8527 東京都港区海岸１丁目5番20号
電話 代表 03（3433）2111

お買上げ日	年　月　日		
販売店名		扱者印	
住所			
電話番号	（　　）　－		

お客様へ
1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

※この熱源機の修理記録は機器本体内の結線図（袋内）に記録します

取扱説明書

AT-2800ARS SW3Q
AT-2800ARS1SW3Q
AT-2800ARS2SW3Q
AT-2800ARS4SW3Q
AT-2800ARS8SW3Q
AT-2800ARS9SW3Q
AT-2800AFS1SW3Q

110653101212
110653101213
110653101214
110653101215
110653101216
110653101217
110653101218

13

12

01